

## 佐賀県北西部における植生

佐賀県林業試験場 山口和行・立切哲也

### はじめに

県の北西地域の海岸部はアコウ、ハマオモト、野生サボテンの自生地、マテバシイの純林地をはじめ暖地性植物の分布地として有名である。

未利用広葉樹の緑化樹としての開発試験の一環として行なった当該地域の植生調査結果について報告したい。

### 1. 環境条件

この地域は、標高100~200mのいわゆるビュート型地形で玄界灘に突出した半島部である。土壌は玄武岩の風化した乾性の褐色森林土が大部分をしめ、堅密な土壌である。

年間降水量1800~2000mmであるが、佐賀平坦と比較して、夏寡雨型の気候で温量指数130~135、雨量係数120~130であるが、年間を通じて北西の強い季節風はこの地域の乾燥を一層強くするものと思われる。

### 2. 調査方法

地域内の海岸附近、内陸部から30ヶ所を任意に抽出して、1ヶ所100㎡の区画をとりその内に自生している樹種と本数を調査した。

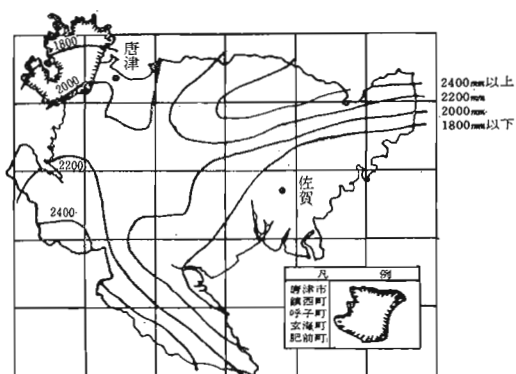
### 3. 植生状態

自生していた樹種は第1表のとおりである。これらの樹種は殆んど暖地性植物であって暖帯林の南部、ないしは極南部に自生する樹種が相当ある。注目されるものとして、北面の海岸附近ではハマヒサカキ、トベラ、マルバシャリンバイ、シャリンバイ、クロマツの自生が多く、南面では北面と異なりシイ、アラカシ、ヤマハゼ、タイミンタチバナが多い。アコウは南面の入江に生立している。内陸部ではマテバシイが優占樹で次いでシイ、タブ、シロダモ、クロキ、ネムノキ、アラカシ、カクレミノ等がありホルトノキ、コバンモチ、オガタマ、モッコク等多数の樹種が混交している

第1表 植 生 分 布

科 名	樹 種 名	頻 度	備 考
ぶ な 科	マテバシイ、シイ、アラカシ	卅,卅,卅	卅 少ない 卅 多い 他4種
は い の き 科	クロキ、ハイノキ、シロバイ	卅,卅,十	〃 2〃
く す の き 科	ヤブニッケイ、タブノキ、ハマビワ	卅,卅,卅	〃 5〃
す い か ず ら 科	ハクサンボク、サンゴジュ、ガマズミ	卅,卅,卅	〃 3〃
つ ば き 科	ヒサカキ、ツバキ、サザンカ	卅,卅,卅	〃 3〃
も ち の き 科	モチノキ、クロガネモチ、ナナメノキ (ナナミノキ)	卅,卅,卅	
つ つ じ 科	シャシャンボ、ネジキ、ヤマツツジ	卅,卅,卅	
に れ 科	エノキ、ムクノキ、ケヤキ	卅,十,十	他1種
う こ ぎ 科	カクレミノ、ヤツデ、メダラ	卅,卅,卅	〃 1〃
み ず き 科	アオキ、ミズキ、クマノミズキ	卅,卅,卅	
ぐ み 科	ツルグミ、マルバグミ、オオナワシログミ	卅,十,十	他2種
ば ら 科	マルバシャリンバイ、オオミツデイチゴ、ビロウドカジイチゴ	十,十,十	〃 3〃
や ま も も 科	ヤマモモ	卅	
ま ん さ く 科	イスノキ	卅	
に し き ぎ 科	マサキ、マユミ、コマユミ	卅,卅,卅	他1種
あ お い 科	ハマボウ、ムクゲ	十,十	
も く せ い 科	ナタオレノキ、ネズミモチ	卅,卅	ナタオレノキ北限地
い い ぎ り 科	クスドイゲ	卅	
や ぶ こ う じ 科	タイミンタチバナ、ヤブコウジ	卅,卅	

くまつづら科	ヤブムラサキ, ムラサキシキブ, ハマゴウ	卅, 卅, +	他1種
とべら科	トベラ	卅	
あかね科	クチナシ, アリドウシ, ジュズネノキ	卅, 卅, +	他1種
まめ科	ネムノキ, ハネミノイヌエンジュ	卅, 卅	
ほるとのき科	ホルトノキ, コバンモチ	卅, 卅	
うるし科	ヤマハゼ, ヌルデ	卅, 卅	
とうだいぐさ科	カンコノキ, ヒメユズリハ, アカメガシワ	+ , 卅, 卅	他1種
もくれん科	オガタマ	+	
えごのき科	エゴノキ	卅	
せんだん科	ハマセندان, セندان	+ , +	
まき科	イヌマキ	+	
くわ科	アコウ, イヌビワ, カカツガユ	+ , 卅, +	アコウ北限地
やし科	シュロ	+	
みつばうつぎ科	ゴンズイ	+	
むらさき科	チシャノキ	+	
みかん科	カラスザンショウ, サンショウ, イヌザンショウ	卅, + , +	他1種
ぼろぼろのき科	ボロボロノキ	+	
やまものがし科	ヤマモガシ	+	
あわぶき科	ヤマビワ	+	



第1図 調査地および降水量

ことがあげられる。内陸部の各地には極相と思われるマテバシイの純林も少なくない。

以上のような分布は県内では例がみられずこの地域だけの特性である。

時代の要求である緑化樹としての利用も可能であるが、この地域の海岸部は玄海国定公園に指定されており、開発利用もさることながら、保存と保全に努むべき地域ではないだろうか。